

1 屋敷構え^{がま}

古民家を訪れたら、まずは建物の配置を確認します。主屋^{おもや}だけなのか、クラや馬屋もあるのか、建物の周り囲む屋敷林^{やしきりん}もあるのか。広めの前庭があったら、そこで麦打ちなどの農作業をしたのかもしれませんが。

2 屋根の仕上がり

屋根の稜線がピシッと直線か、ふんわりと丸みを持っているか、軒先近くが少し反りあがっているかで、古民家の見た目はガラッと雰囲気が変わります。軒裏を下から見上げれば、屋根の厚みにびっくりするかも。

3 棟の形^{むね}

屋根の一番でっぺん、棟がどんな仕上げかもお見逃しなく。棟の先に飾りを刈り込むこともあるので、正面からだけでなく、脇からも見上げてみてください。

4 壁の仕上げ

土壁の上から板張りをしたり、丸竹を叩いてのぼしたヒシギ竹を張ることもあります。

5 土台

柱が地面にどんな風に立っているか、見てみましょう。並べた石の上に柱^{どだい}(土台と呼びます)を寝かせてその上に柱がたっている場合と、石の上に直接柱をたてている場合^{いしぼた}(石場建てと呼びます)があります。石場建ては比較的古い工法です。

古民家建築の見どころ

外から眺めてみる

